平成 30 年度　地域文化学専攻・比較文化学専攻　学生派遣事業　研究成果レポート

星野麗子

１．事業実施の目的

短期補足調査の実施。

２．実施場所

中国四川省成都市

３．実施期日

平成 31 年 2 月 2 日（土）から 2 月 23 日（土）

４．成果報告

●事業の概要

今回は、博士論文執筆のための補足調査を行った。具体的には、2019 年 2 月 5 日の春節前から調査地入りし、春節の前後の一連の流れを参与観察と聞き取り調査から記録した。尚、本調査は本来 2 月 1 日に渡航予定であったが、天候の悪化に伴う空港閉鎖により 2 月 2 日に日本を出発し、3 日から中国で調査を行った。このことについては、速やかに「計画変更承認届」を提出した。

【2 月 3 日（日）～22 日（金）】

Ⅰ）、四川省成都市市内、成都市龍泉驛区、洛帯鎮、Ｓ村で、住み込みと通いを合わせた現地フィールド調査を行った。

ⅰ）、春節の過ごし方に関する参与観察及び聞き取り調査（Ｓ村）。

ⅱ）、親族関係や祠堂の歴史に関する聞き取り調査（Ｓ村）

ⅲ）、観光地での客家文化表象の記録、撮影（洛帯鎮）

ⅳ）、20 世紀における四川の歴史や文化に関する文献の収集（成都市）。

●本事業の実施によって得られた成果

今回は、主にⅰ）とⅱ）を中心に行った。

Ⅱ）、得られた成果は次の二つである。

ⅰ）、春節前、春節期間、春節後に関する一連の流れをフィールドノートに記録したり、写真で撮影したりすることができた。これにより、Ｓ村の祖先祭祀や地域的特徴と見られる儀礼を観察することが出来た。

ⅱ）、これまで得られた親族関係の情報に加え、親族関係と居住地の関連性が少しずつ明らかとなった。また、祠堂の保護をめぐる近年の変化に関して情報を得ることができた。同じ建物内にある祖先祭祀の空間である祠堂と、日常生活の空間である居住地（当該地域では〇〇院と称する）の違いが明確化出来た。

●本事業について

　今回の助成金による短期調査の実施によって、報告者は今回これまで参加できなかった春節の儀礼を観察、聞き取りすることが出来た。

本事業は、経済的負担の大きい学生にとって、貴重な研究活動であり、博士論文を執筆する上で、重要な機会でもあった。博士論文執筆に向けた「論文ゼミ」の発表準備を進めることができた。今後もこのような事業が継続されることを強く希望している。